

12月12日 マルコによる福音書1章1～8節 今日の説教から  
説教題：「救いに導かれるために」

今日この日まで、私たちはクリスマスに向けて多くの準備をしてきました。聖書の中でも、イエス様の誕生のために、多くの人々によって準備がなされていました。今日の聖書箇所で洗礼者ヨハネが行っていた洗礼も、イエス様の言葉を受け入れる「準備」のために行われていたことです。ヨハネ自身は、イザヤ書40章3節で預言されている「呼びかける声がある。主のために、荒れ野に道を備え／わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ」という言葉の成就としてこの世に与えられました。イザヤ書に預言されていたヨハネの仕事は「主の道を整えること」、つまりはイエス様に先立って生まれ、イエス様の言葉を多くの人が受け入れることが出来るように準備をすることでした。そして、40章4節の言葉「谷はすべて身を起こし、山と丘は身を低くせよ。険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ」へと続くように、今まで当たり前であったことがひっくり返るということが預言されています。私たちが経験した悔い改めは、山が完全に平らになってしまうような、「圧倒的な変化」というものを私たちにもたらしたのです。

それによって私たちは、日々の生活を送る中で、暖かな交わりの中で、または痛みや苦しみを覚える中で、「ここに神様がいるのだ」という事を、少しずつ知っていくことになります。私たちは、「そこに何も見えない」「神様を見ることは出来ない」にもかかわらず、「神様は私たちと共にいる」ことを知ることが出来るようになります。これこそが、私たちが悔い改めることによって得ることが出来た「劇的な変化」、「価値観の逆転」というものなのです。

このアドヴェントの期間、私たちの中には、「自分は何もできなかった」と思う人や、「いつも通り罪深い日々を送ってしまった」という反省の中にいる人もいると思います。しかしそうではありません。もし何もできなかったとしても、そこには神様がいます。罪深い日々を送ってしまったとしても、その反省の中に、正しい道に戻ってきててくれたと喜ぶ神様の姿があります。もちろん、私たちが行うことが出来たすべての準備の業は、それ自体が私たちにとって大きな恵みであり、そしてすべての業には大きな報いが待っています。イエス様によってもたらされた平和が、イエス様がこの世に生まれたことによって私たちが知ることが出来る全ての喜びが、そして私たちが神様と繋がり、救いへと導かれているという希望が、クリスマスのすべての出来事によって、私たちへの恵みとなっているのです。

アドヴェントも最後の週となり、もはや、行るべき準備はすべて終わりました。あとは、何よりも喜びの気持ちでクリスマスを迎えるだけです。19日のクリスマス礼拝に、24日のクリスマス贊美礼拝に来てくれるすべての方々を喜びの中で受け入れることが、私たちができるクリスマスに向けた最後の「準備」なのではないでしょうか。私たちと共にいて、すべての業を祝してくれる神様への感謝を持ちながら、今週一週間を、クリスマスまでの日々を、喜びの中で共に歩んでいきましょう。

## 今日の説教箇所：マルコによる福音書1章1～8節

- 1:神の子イエス・キリストの福音の初め。預言者イザヤの書にこう書いてある。「見よ、わたしはあなたより先に使者を遣わし、／あなたの道を準備させよう。荒れ野で叫ぶ者の声がする。『主の道を整え、／その道筋をまっすぐにせよ。』」そのとおり、洗礼者ヨハネが荒れ野に現れて、罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼を宣べ伝えた。ユダヤの全地方とエルサレムの住民は皆、ヨハネのもとに来て、罪を告白し、ヨルダン川で彼から洗礼を受けた。ヨハネはらくだの毛衣を着、腰に革の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた。彼はこう宣べ伝えた。「わたしよりも優れた方が、後から来られる。わたしは、かがんでその方の履物のひもを解く值打ちもない。わたしは水であなたたちに洗礼を授けたが、その方は聖霊で洗礼をお受けになる。」

- イザヤ書 40章3節

呼びかける声がある。主のために、荒れ野に道を備え／わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。

- イザヤ書 40章4節

谷はすべて身を起こし、山と丘は身を低くせよ。険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。